

中央自動車道 石川高架橋支承アンカーボルトに関する検討委員会

第1回 委員会

説 明 資 料

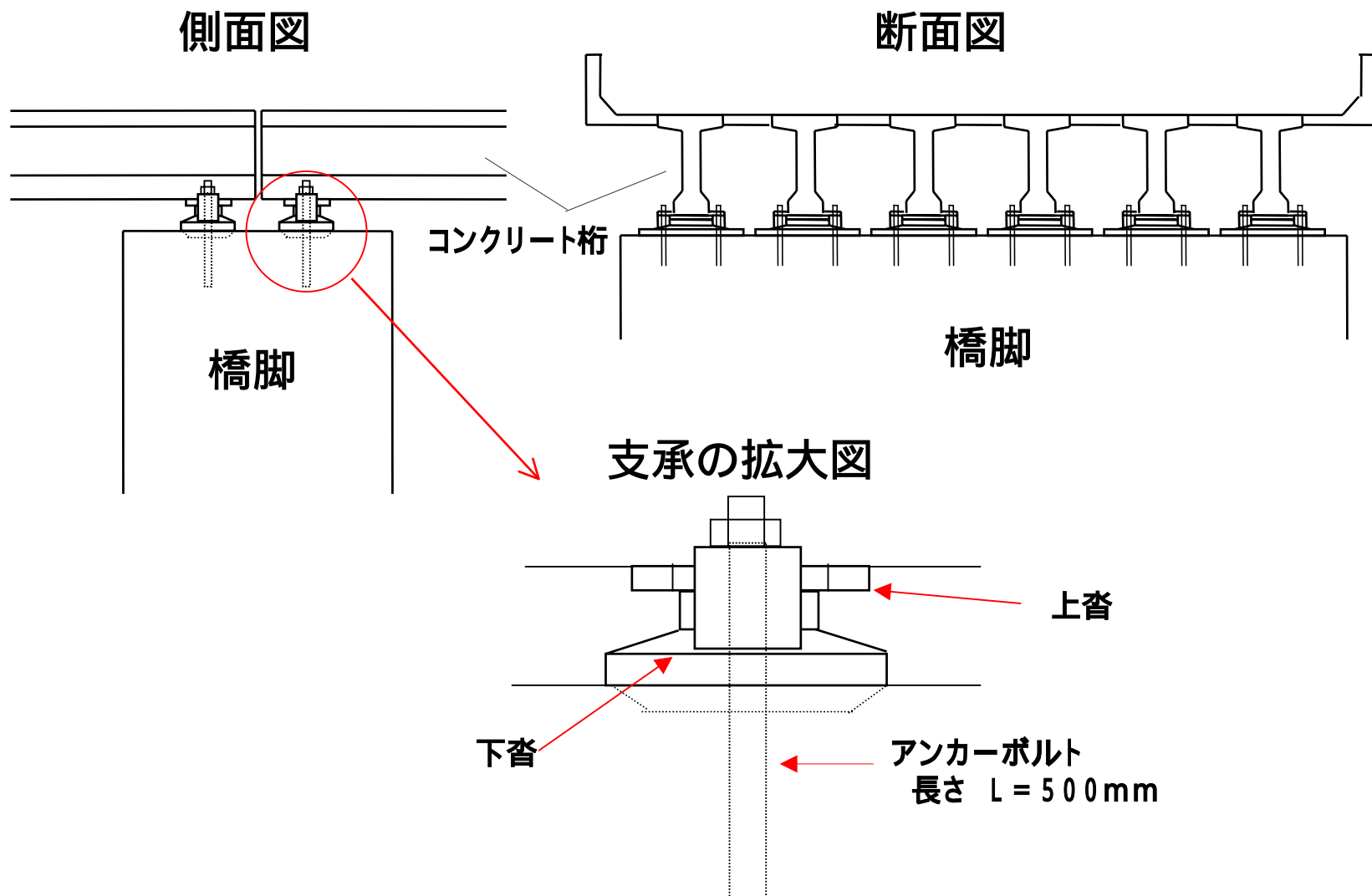
2008.4.25

中日本高速道路株式会社 八王子支社

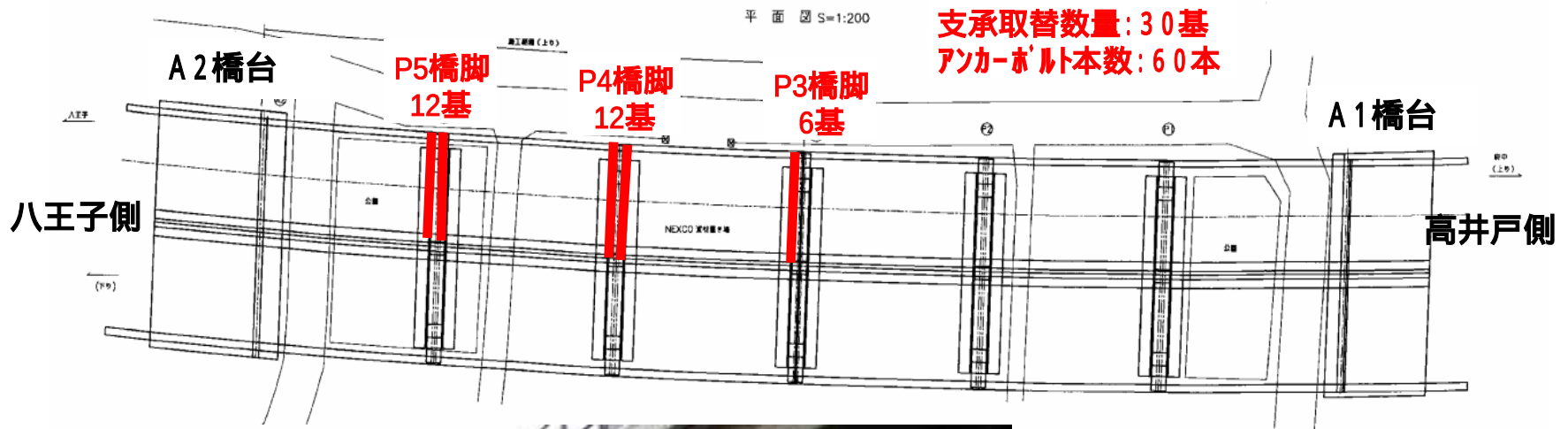
石川高架橋の諸元

区 間	中央自動車道 国立府中IC～八王子IC
開通日	1967年12月15日
交通量	69,017台/日 (上下合計) 2007年平均
橋梁名	石川高架橋
橋梁形式	PC3径間連続T桁×2連
橋 長	135.1m

支承の位置と構造



石川高架橋平面図と支承取替工事範囲

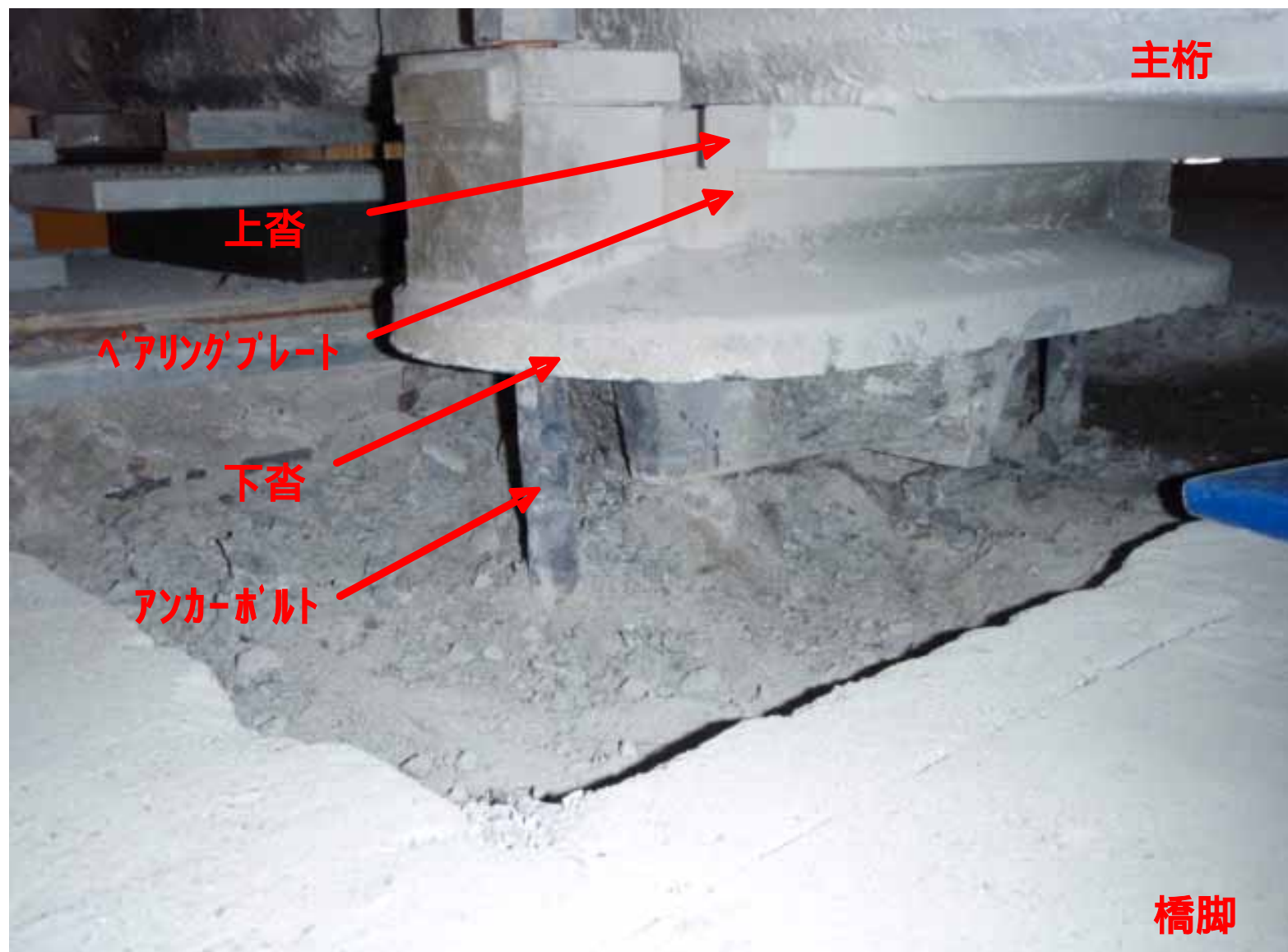


P4橋脚で事象発見

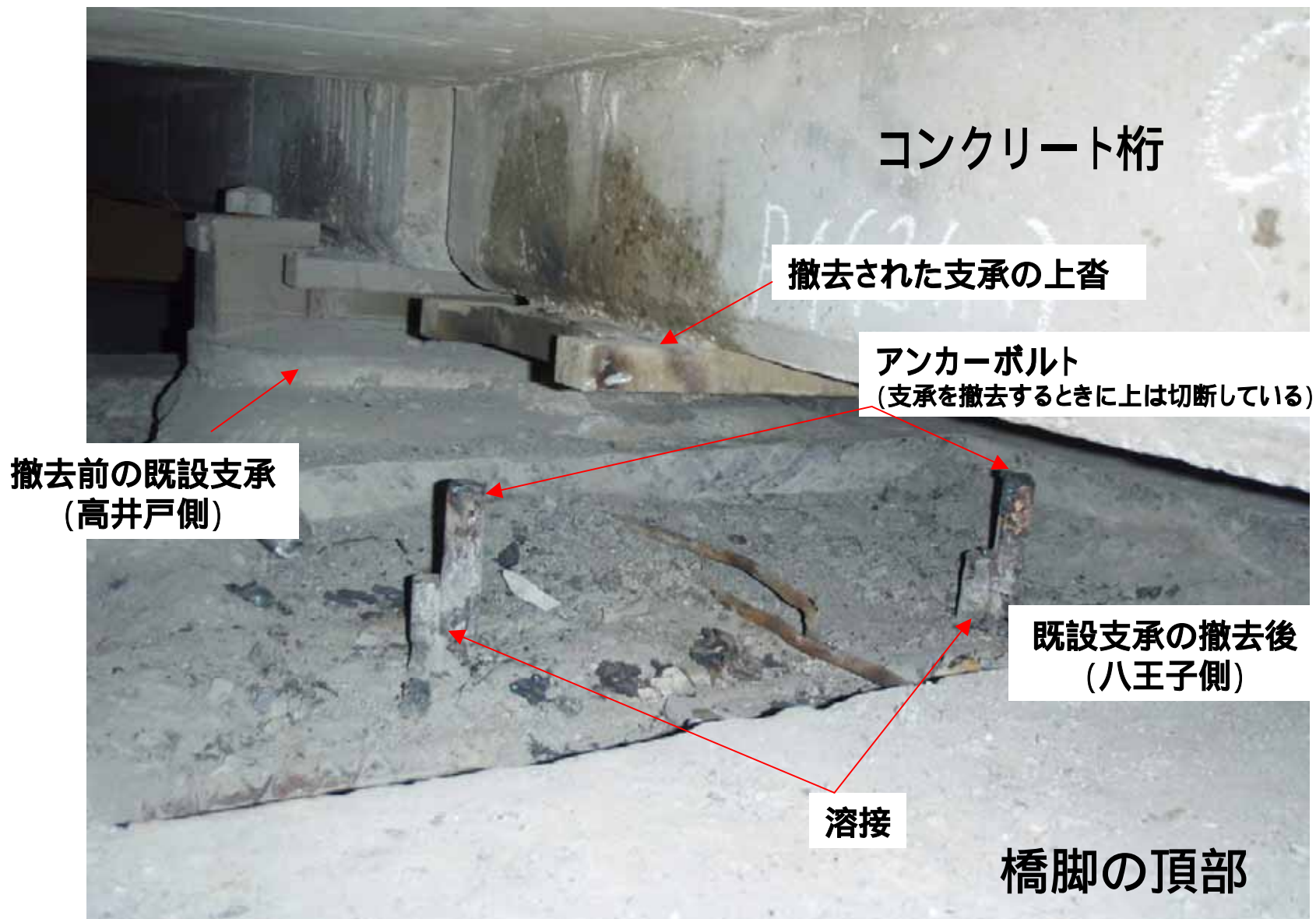
2008.3.18

- 長さ不足のアンカーボルト
支承1基 2本
- 溶接で継手された "
支承1基 2本

はつり出したあと撤去する前の支承

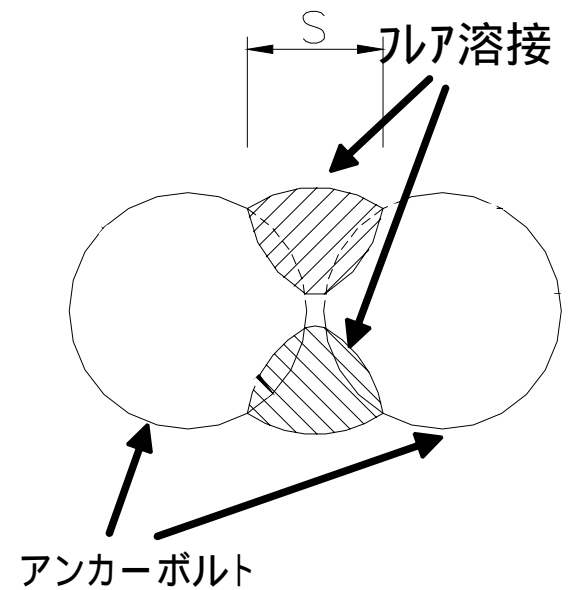


溶接で継手されたアンカーボルト



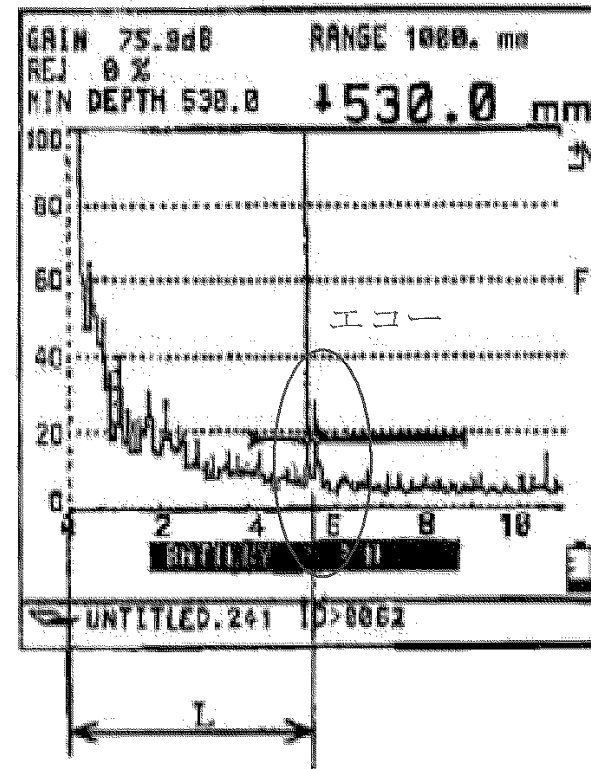
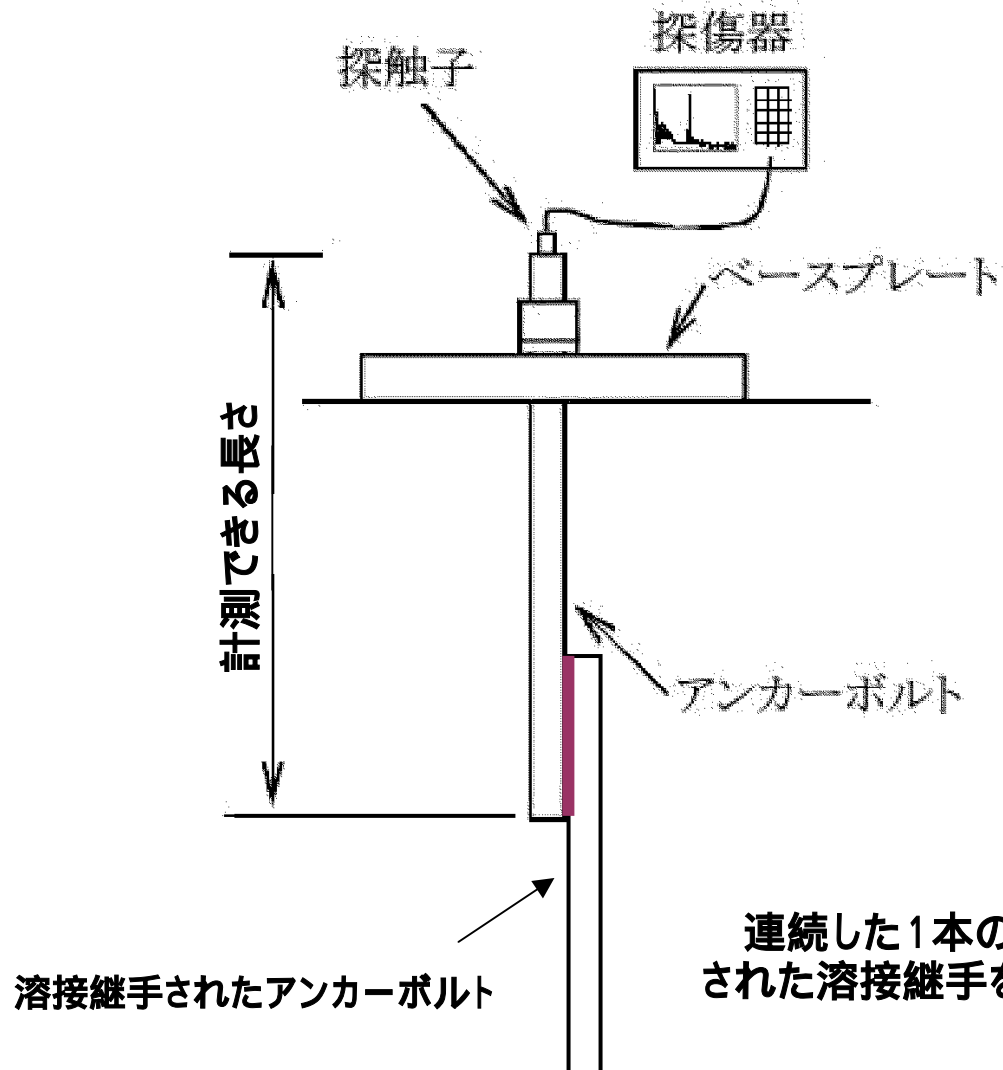
溶接されたアンカーボルト

施工の途中で切断されたもので、
設置されていたアンカーボルトの
全長ではない



断面図

超音波探査による長さの非破壊調査



測定波形の表示例

連続した1本の鉄筋の長さのみが測定可能で、現地で発見された溶接継手を有するアンカーボルトでは全長の測定は不可能

超音波探査による長さの測定結果

状 態	支 承	アンカーボルト
非破壊検査データで設計長を満たしているもの	7 1 基	1 7 3 本
非破壊検査データから長さ不足が疑われるもの（測定不能1本を含む）	7 1 基	1 5 9 本
溶接で継手されているのを確認したもの（記者発表済み）	1 基	2 本
長さ不足を確認したもの（記者発表済み）	1 基	2 本
合 計	1 4 4 基	3 3 6 本

実施した非破壊検査は、アンカーボルト先端から超音波を発信しエコーから長さを測定する超音波探査試験であり、連続した1本の鉄筋のみが測定可能である。溶接されたアンカーボルト全ての長さがわかるものではない。

測定不能は、現地状況から測定器の探触子をあてられず測定できなかったもの